

や断熱材の発泡剤などに使われていること。

▼オゾンホールがあると、地球上に有害な紫外線が降り注ぐこと。

▼紫外線によって、陸上や海中の生物が死滅したり、人間でも、皮膚がんにかかる人が増えてきていること。

▼紫外線は、農作物にも悪えいきようを与えるため、将来、食糧危機になる可能性があること。

▼多くの先進国で紫外線対策の一つとして、紫外線教育が行われているのに対し、日本では遅れていること。

この他にも、たくさん情報がありません。

その中に、「スリップ（長そでシャツを着なさい）、スロップ（紫外線を防ぐローションを塗りなさい）、スラップ（帽子をかぶりなさい）&ラップ（サングラスをかけなさい）」という言葉が、子どもに教えるときの合い言葉になっているという情報がありました。

「あつ、そうか！」

ニュースで見た、オーストラリアの子どもたちが暑そうなのに長袖のシャツを着て、帽子を深々とかぶり、サングラスをしている姿が、すぐに私の頭の中に浮かびました。

私が調べて知ったことを弟に教えると、あんなに「格好悪い」とバカにしていた弟も、黙りました。そして、静かに「いつか日本もそうなるの？もう。」

ときいてきました。

私は、

「まだ、わからない。」

と、答えるのが精一杯でした。

私たちにとってとんでもない事態が、今、現実起こっています。遠い外国の話では、済まされなさいことだと思えます。このままだと、未来の人たちは、日光浴を知らない人たちになります。

今、私たちにできることは、もうないのでしょうか？みなさんは、どう考えますか。

道徳科 「スリップ、スロップ、スラップ&ラップ」

私が先日、ニュースを見てみると、オゾンホール拡大という見出しとともに、全員サングラスをして、外で運動しているオーストラリアの子どもたちの姿が映っていました。

一緒に見ていた弟は、

「子どもなのにサングラスをして、変な格好。あんな格好嫌だな。」と、大笑いしました。

「そんなに笑うのは失礼よ。何か理由があるかもしれないでしょ。」と、私が言うつと

「どんな理由があったって、変な格好は変な格好だよ。だいたい、どんな理由があつて、あんな格好をしているのさ。」と弟は言い返してきました。

「オゾンホール」という言葉を耳にしたことはあるけれど、詳しく知らなかった私は、それ以上、何も言えませんで

した。

その後、なんとなく悔しかった私は、インターネットで調べてみることにしました。すると、思っていた以上に、たくさん情報がありました。

▼オゾンホールとは、地球を取り巻いているオゾン層に穴が開いていることで、オゾンホールは拡大傾向にあること。

▼二〇二年には北極で観測史上最大のオゾンホールが発生し、二〇一七年には南極大陸の二・三倍のオゾンホールが発生していること。

▼オゾン層はフロンによって破かいされていること。

▼オゾン層を元に戻す方法は、まだ誰も知らないこと。

▼フロンは、冷蔵庫やエアコン、ジュース等の自動販売機